

「学力向上ポートフォリオ(学校版)」

～ 「真の学力」 育成の継続的な取組を目指して ～

＜本年度の学力向上基本方針＞

- 凡事徹底
- 各教科領域等で考える時間を設定し、思考力を育成
- 家庭学習の充実

＜本年度の学力向上策＞

- 1 学力向上の基盤となる授業規律の確立
  - (1) チャイム始業・終業を徹底する。
  - (2) 日進北小と宮前中の小・中連携を通して、生徒指導のきまりを共通理解する。
- 2 子どもたちが主体となる授業づくり
  - (1) 各教科における「基礎的・基本的な知識・技能」を定着する。
  - (2) 研修推進委員会をもとに、組織的・計画的に研究授業を実施する。
  - (3) 学習課題の明示と、学習の振り返り・学びの足あとを残せるようにする。
- 3 全国学力・学習状況調査・学期毎の主要教科の結果の分析と活用
  - (1) さいたま市学習状況調査からみられる各教科の成果と課題を把握する。
  - (2) 学力向上カウンセリング学校訪問を活用した調査結果の分析と学力向上策の見直し、各教科主任を中心に図る。
  - (3) 児童理解研修で学習・生活状況等を共通理解・共通行動を図る。
- 4 家庭・地域と連携した学習環境の整備
  - (1) 家庭学習は、全校で共通理解を図り、各学年で系統的に同一歩調で行う。

＜本年度の振り返り＞

- 1 1年を通して継続して落ち着いた学習環境で授業が行われているので継続したい。
- 2 学校課題研修を通して、計画的・発展的な日々の指導を積み重ねたことで、児童が意欲的で主体的に学習に取り組むことができた。
- 3 ○小・中一貫教育合同研修会を通して9年間の見通しをもって、共通理解・共通行動を共有化し、一貫性のある教育に努めた。
  - ▲各教科の課題克服のため、日々の家庭学習や長期休業中の課題等学年会で話し合い、同一歩調で継続的に取り組むことが大切である。
  - ・次年度も、教科ごとの分析をより詳細に進め、継続的な授業改善に取り組む。
- 4 チャレンジスクールへの参加者が意欲的に参加できた。